

日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

日本赤十字豊田看護大学は、独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドへの投資を決定しました。

「ソーシャルボンド」とは調達した資金が社会課題の解決に用いられる債券のことであり、グリーンボンドとともにESG⁽¹⁾投資の対象となります。また、「ソーシャルボンド」は、資金使途がSDGsに貢献する事業に特定される、いわゆる「SDGs債⁽²⁾」に該当し、SDGs達成に資するプロジェクトに供給されます。

●「ソーシャルボンド」への投資の意思

日本赤十字社は世界の192の国と地域にグローバルなネットワークを持つ人道支援機関で、紛争・災害・病気などで苦しむ人を救うため、国境も、民族も、宗教も超えて、あらゆる支援を行っています。

看護師養成は120年以上にわたり続けており、現在、学校法人日本赤十字学園が設置する、看護大学・大学院6校、短期大学1校、看護専門学校14校で、年間1,400人の学生を育成しています。

学校法人日本赤十字学園日本赤十字豊田看護大学は、「いかなる状況下でも、人間の命と健康、尊厳を守る」という赤十字の「人道」の理念を建学の精神として、平成16年に開学しました。

中部圏唯一の赤十字大学・大学院として、広く社会に貢献できる豊かな人間性を持った看護師や保健師を育成しています。

昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「医療人材」の確保が全国の医療機関で急務となり、医療人材の育成が何より重大な課題であると同時に、人の生活の基礎となる経済の後退への対処として教育面の強化も重要と考えています。

看護師養成に留まらず、教育に資する取り組みは教育機関の社会的役割の一つと考え、日本学生支援機構(JASSO)への投資を決定しました。

弊学の資産運用を通じて、広く教育支援に貢献できることを期待しております。

(1) ESGとは、環境(Enviroment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とは、これらの要素を重視・選別して行う投資のこと。

(2) SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて掲げられた、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと。SDGs債とは、調達資金がSDGsに貢献する事業に充当される債券の総称。

+ 中部圏で唯一の
赤十字大学・
大学院

JAPANESE RED CROSS TOYOTA COLLEGE OF NURSING



学校法人 日本赤十字学園
日本赤十字豊田看護大学
Japanese Red Cross Toyota College of Nursing